

情報学専攻のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は専攻ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が修了までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、修了時点での到達目標を表します。一番上には所属する専攻の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といて、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

知識・理解	DP1	情報工学及び関連分野の必要な情報を入手し、精査のうえ取捨選択して、獲得した知識や専門知識を関連付けて活用することができる。
	DP2	情報工学及び関連分野に関する専門知識を系統的に理解し、必要な ICT ツールを効率的に利用して、緻密で正確な自己の主張を実現することができる。
思考・判断	DP3	情報工学分野における現状と目標を把握し、その乖離から、解決すべき課題を発見することができる。
	DP4	課題の因果関係を理解し、本質を見抜くことができる。
	DP5	実行結果を客観的に評価し、計画を見直し次期計画に反映することができる。
関心・意欲	DP6	情報工学のみならず、数学・自然科学に関して広い知識を有し、その内容を理解の上、情報工学と共用することができる。
	DP7	知的好奇心を基に専門内外のことに関心をもち、それらから着想を得て斬新な発想をすることができる。
態度	DP8	目的と目標を設定し、順序立てて計画し、実践することができる。
	DP9	自己研鑽のために普段から目標を設定してその達成の道筋を立て、邁進することができる。
	DP10	関連法令を遵守し、社会責任を果たすことができる。
技能・表現	DP11	複雑な事象を整理し、構造化できる。
	DP12	自分の意見を論理的に構築し展開することができる。
	DP13	広く深い知識と経験をもとに、ICT を適切に用いて、精確に作業を進め、情報工学を実践することができる。

学年	科目番号	授業科目名	単位数	知識・理解		思考・判断			関心・意欲		態度			技能・表現		
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13
2年	503	○情報学特別実験Ⅰ	6	●	◎	●	●	●			●	◎	◎	●	●	◎
	502	○情報学特別演習Ⅰ	4	●	◎	●	●	◎			●	●	●	●	●	●
1年	501	○情報学特別論議Ⅰ	2	●	◎	◎	●	◎			●	●	●	●	●	◎
	452	応用ネットワーク演習Ⅰ	1	●		◎	●	◎			●			◎	◎	
	451	応用ネットワーク特論Ⅰ	2	●		◎	●	◎			●			◎	◎	
	448	情報音楽特論演習Ⅰ	1		●			●	●	●						
	447	情報音楽特論Ⅰ	2		●			●	●	●						
	446	情報システム設計演習Ⅰ	1	◎		●	●				●			●	●	◎
	445	情報システム設計論Ⅰ	2	◎		●	●				●			◎	◎	●
	444	プログラミング言語演習Ⅰ	1		●		●	●	●	●	●			◎	◎	●
	443	プログラミング言語Ⅰ	2		●		●	●	●	●	●			◎	◎	●
	442	イメージ情報学演習Ⅰ	1	●	●		●	●	●	●	●			●	●	●
	441	イメージ情報学論Ⅰ	2	●	●		●	●	●	●				●	●	●
	438	ヒューマンコンピュータ インタラクション演習Ⅰ	1	◎	●	●					◎					
	437	ヒューマンコンピュータ インタラクションⅠ	2	◎	●	●					◎					
	436	画像情報処理演習Ⅰ	1	●	◎	●	◎	●	●	●	●			◎	◎	◎
	435	画像情報処理Ⅰ	2	●	◎	●	◎		◎	●	●			◎	◎	●
	426	生体情報工学演習Ⅰ	1	●		●	●	●	●							
	425	生体情報工学論Ⅰ	2	●		●	●	●			●	●		●	●	
	424	組合せデザイン論演習Ⅰ	1						◎	●						●
	423	組合せデザイン論Ⅰ	2						◎	●						
	416	情報ネットワーク演習Ⅰ	1			◎			●							
	415	情報ネットワーク特論Ⅰ	2		●				◎							
	414	数物情報演習Ⅰ	1						◎					●	●	
	413	数物情報特論Ⅰ	2						◎					●	●	
	412	ネットワークソフトウェア演習Ⅰ	1											●	●	◎
	411	ネットワークソフトウェア特論Ⅰ	2			●			◎							
	406	計算科学演習Ⅰ	1		○	○	○		○		○			◎	○	○
	405	計算科学特論Ⅰ	2		○	○	○		◎		○			○	○	○
	404	計算言語学演習Ⅰ	1	◎	◎	●	●	◎	●	●	●					
403	計算言語学Ⅰ	2	◎	◎	●	●	◎	●	●	●						
402	コンピュータアーキテクチャ演習Ⅰ	1		◎						●						
401	コンピュータアーキテクチャ特論Ⅰ	2	●												◎	

○：必修科目

情報学研究科 情報学専攻の主要科目

主要科目	特徴
ネットワークソフトウェア 演習Ⅰ	ネットワークを用いた並列処理について概念とその記述について理解する。 (DP1,DP3,DP6)
コンピュータアーキテクチャ特論Ⅰ	今日のコンピュータシステムに用いられている性能向上技術・処理高速化技術に関する議論・講義を通して、基礎的な内容から先端的な内容まで幅広く理解を深めるとともに、ソフトウェアとハードウェアの関わりやプロセッサアーキテクチャについて定量的な議論や分析ができる基礎的な知識を身につけることを目標とする。DP1およびDP13と関連づいた科目となっている。
コンピュータアーキテクチャ演習Ⅰ	今日のコンピュータシステムに用いられている性能向上技術・処理高速化技術に関して、実機やシミュレータを用いた実験・性能評価等を通して理解を深める。これにより、講義で得た知識を確かなものにするとともに、コンピュータシステムに関する定量的な性能評価や解析の方法・考え方を身につける。また、演習で得られた結果に関する議論や発表を通じ、プレゼンテーションの能力を養う。DP2およびDP8と関連づいた科目となっている。
組込みシステムⅠ	組込みシステムを構成するハードウェアとソフトウェアの役割分担を理解し、リアルタイム処理プログラムを作成できるようになる。